



紙面から

お知らせ
 日野市子ども条例が制定 2
お知らせ
 カワセミ商品券を販売 2
特集
 第58回社会を明るくする運動 6
特集
 第46回市民文化祭出演者、作品を募集 7
特集
 芸術文化の薫るまち2008 12

新しい取り組み
始まる

地域で見守る安心な暮らし

高齢者見守り支援ネットワーク

この取り組みは、「シルバー日野人 安心いきいきプラン」に基づき、高齢者がいつまでも安心して暮らせる地域づくりをすすめるためのものです。地

域に住む皆さんの理解のもと、ふれあい訪問調査などを活用し、連携、協力して高齢者を支えていきます。

問合せ先 高齢福祉課

日常生活のちょっとした困りごとをお手伝い

高齢者や障害者の方の日常生活における「ちょっとした困りごと」のお手伝いをする

将来的には地域の協力者を中心とした事業展開をしていきます。そのため、作業ボランティアとして協力して

「ふらっと立ち寄れるふれあい交流の場」

「地域の高齢者が誰でもふらっと立ち寄れる」ここにすれば誰かいる。昨年、百草団地ショッピングセンターの空き店舗を利用して、「百草団地ふれあいサロン」594・4499が新たに開所されま

グ「ゆざわ」からネット」もオープンしています。近くにお住まいの高齢者の皆さんはぜひ一度お立ち寄りください。新たに施設の立ち上げに興味のある方は問い合わせを。

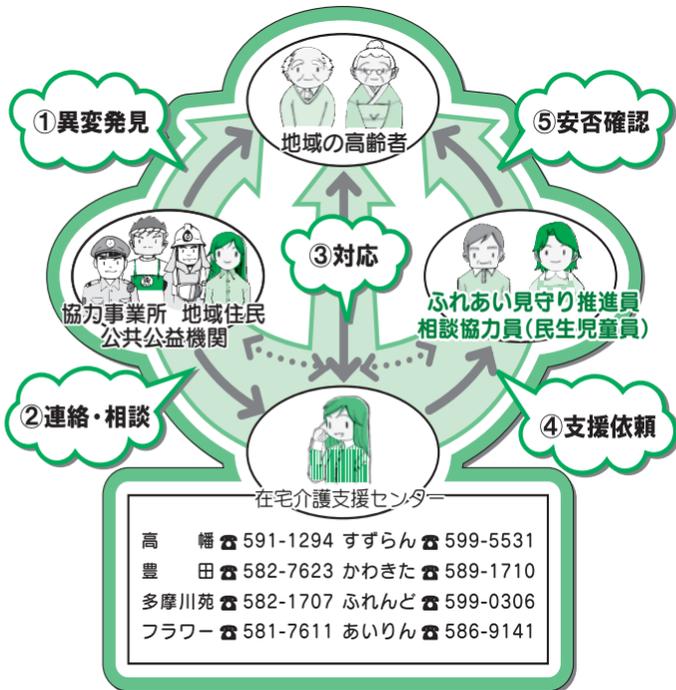


「対象者」概ね70歳以上のひとり暮らしの高齢者及び高齢者・障害者のみの世帯「お手伝いの内容」専門技術が必要とする継続性のない作業（電球の交換、ブレーカー落ちの修復など）「利用料」1回300円（実費については利用者負担）「申込み」土曜・日曜日、祝日、年末年始を除く午前9時～午後5時に日野市福祉事業団（☎585・5252）へ

以前から自主的な地域活動のなかで、高齢者が立ち寄れる場所として、南平ミニデイホームよりみち（南平6の22の2 ☎591・2980）、談話室ひなたぼっこ（大坂上4の20の18 ☎581・1383）でも行われています。



▲百草団地ふれあいサロン



地域で見守りの輪が
ひろがっています

地域に住む皆さんや民生委員、店舗、事業所、在宅介護支援センターが連携して高齢者の変化を早めに見つけすみやかに対応する取り組みです。平成18年から始めた、この取り組みでは、現在、高齢者約190人に対し、ふれあい見守り推進員約230人が登録し活動を行っています。活動に興味のある方は問い合わせを。

ふれあい見守り推進員の見守り

ふれあい見守り推進員が玄関先であいさつ（声かけ、およそ月1回）、さりげない様子（見守り、およそ週1回）

市が高齢者に関する相談窓口として委託している機関です。市内に8カ所あり、このネットワークで、地域の協力者や高齢者の間を取り持つ中心的な役割を担っています。

協力事業者との連携
地域の約200事業者の皆さんが異変発見について連絡体制を築いています。
在宅介護支援センター
市が高齢者に関する相談窓口として委託している機関です。市内に8カ所あり、このネットワークで、地域の協力者や高齢者の間を取り持つ中心的な役割を担っています。

源氏物語千年紀

日野市長 馬場弘融
日本女性が書いた、世界の最高傑作「源氏物語」のことです。

平安時代は、物語だけ書き写され作者はほとんど伝わりません。ですから全巻の完成が何時ごろかはつきりしませんが、内容を示す記事が最初に見られるのは「紫式部日記」。寛弘五年、つまり西暦一〇八〇年のことです。藤原公任が式部への挨拶がわりに、若紫の君はいますか、と問いかけた場面です。この頃すでに若紫の巻は完成していたこと、作者は紫式部であることが分かります。

そんなことから、今年二年は源氏物語千年紀とされます。京都・宇治をはじめ大津など各地で、あるいは放送や出版界でも、源氏物語にまつわる催しが企画されているようです。

じつは日野市も、源氏物語には関わりを持っています。実践女子学園を創設した下田歌子先生は、女子教育の先駆者であるだけでなく、源氏物語の研究者としても有名でした。優れた論文や注釈書が残されています。大学では、折にふれ市民公開の資料展や講座などを開催してきました。

千年紀ということで、この秋は日野市と実践女子学園が連携してシリーズ講演会を開きます。初回はNHKとの共催でもあります。あこがれの王朝ロマン、平安の食文化、香りと装束のみやび、源氏絵巻など興味たっぷりな講座になりました。加えて、第5回「ひの新能」では金春流の「葵上」が上演されます。

素漠とした事件が続く昨今ですが、平安貴族のみやびに酔ってみませんか。「源氏物語」を日野の新たな魅力に加えたいものです。